

聴くオフミーティング

「多文化共生ってなに？ 外国人から見る杉並を話し合おう！」

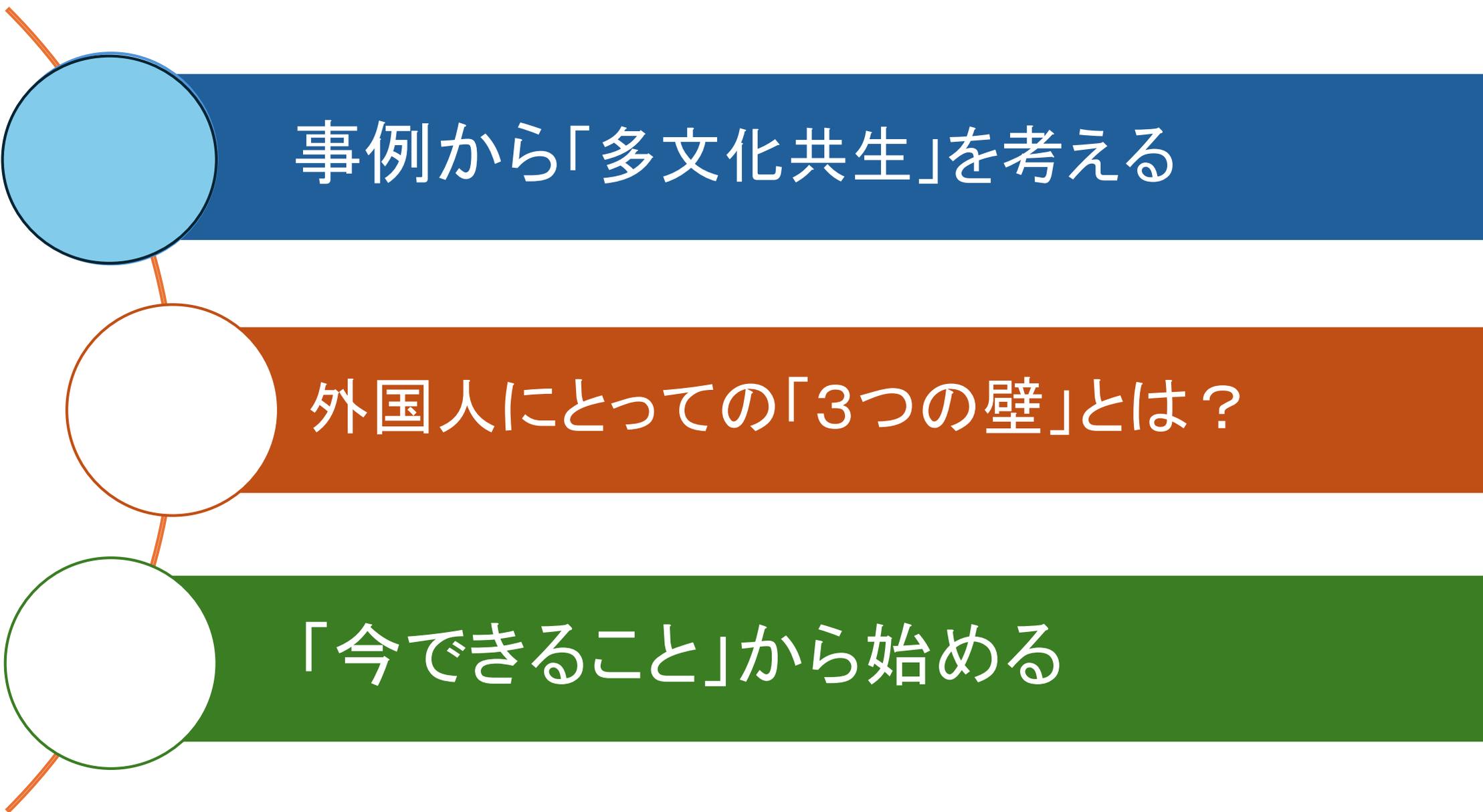
2024年5月25日（土）

現場から「多文化共生」を考える

～活気ある地域社会をつくるために～

嶋田 和子

杉並区地域日本語教育総括コーディネーター
杉並区交流協会評議員



事例から「多文化共生」を考える

外国人にとっての「3つの壁」とは？

「今できること」から始める

事例

①

地域の**人財**になった「**外国につながる子ども：T君**」
～人との出会いが人生をひらく！～

T君：秋田県で誕生（父＝日本人、母＝中国人（日本語ゼロで来日））

県庁に就職
大学入学

高校入学

T君、普通学級は
無理です。

小学校入学

<面接試験で>

これまでいっぱい町の人
にお世話になりました。こ
れからは皆さんのために
力をつくしたいです。

（「のしろ日本語学習会」代表）

T君の日本語の問題。自分が責任を持つから「普通学級で！」

事例

②

「のしろ日本語学習会」に1年間通い、ビデオを作成 ～7人の日本人高校生の「気づき、学び、変化」～

(※ビデオ作成 = NHK杯全国高校放送コンテストに応募するため)



1年間通って、
16本のビデオを
8分の動画に！



ともに活動することで
お互いに大きな学びを
得ることができた！



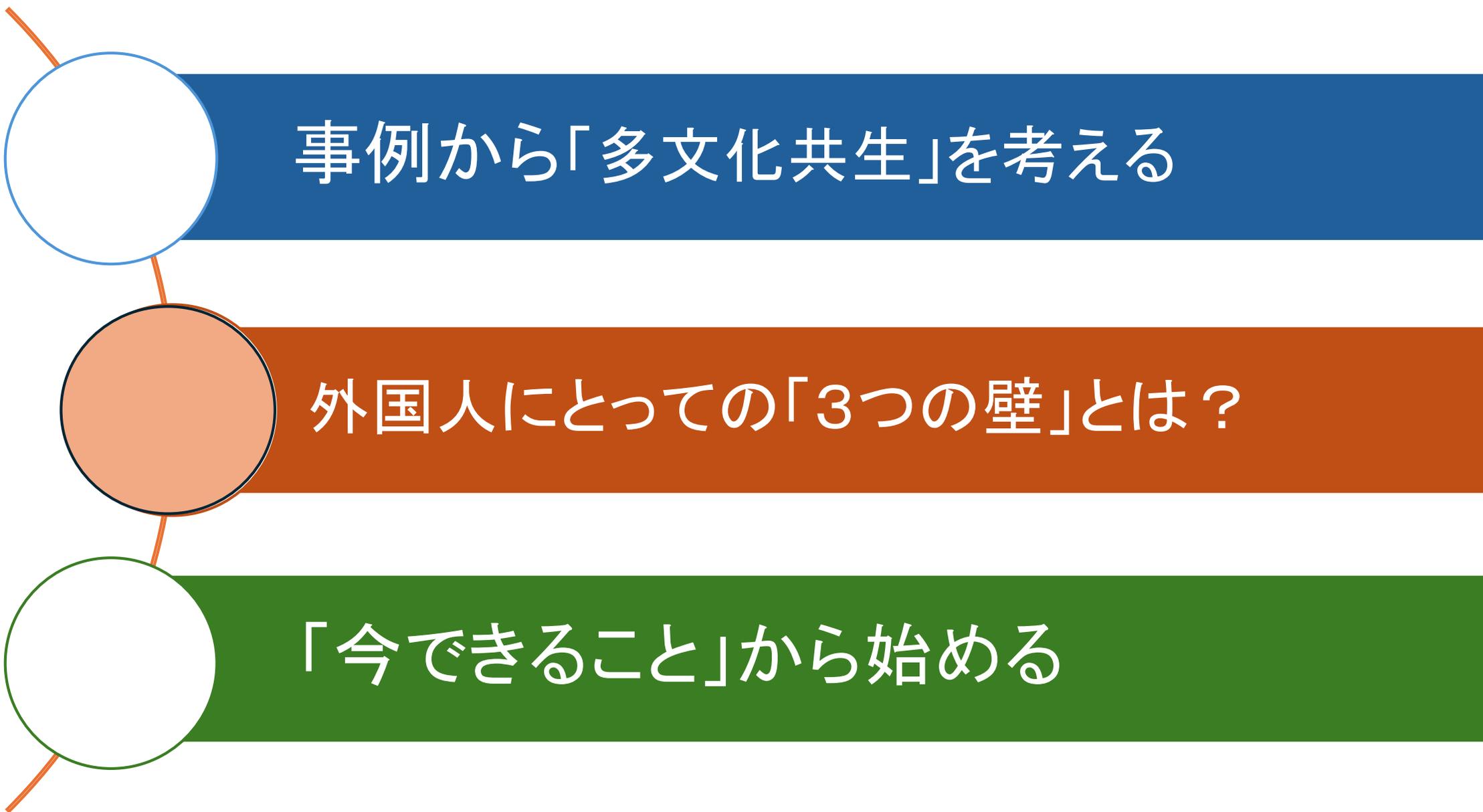
* 日本人と外国人としてではなく、人と人としての交流
＜人間交流＞の大切さに気づく。

* 大学受験で、進路を国際関係に変更した高校生も！

日本の子どもたちにも大きな影響を～～～

人と人との出会いから、「知る→気づく→認め合う」、

そして「ともに生きる社会」へ！

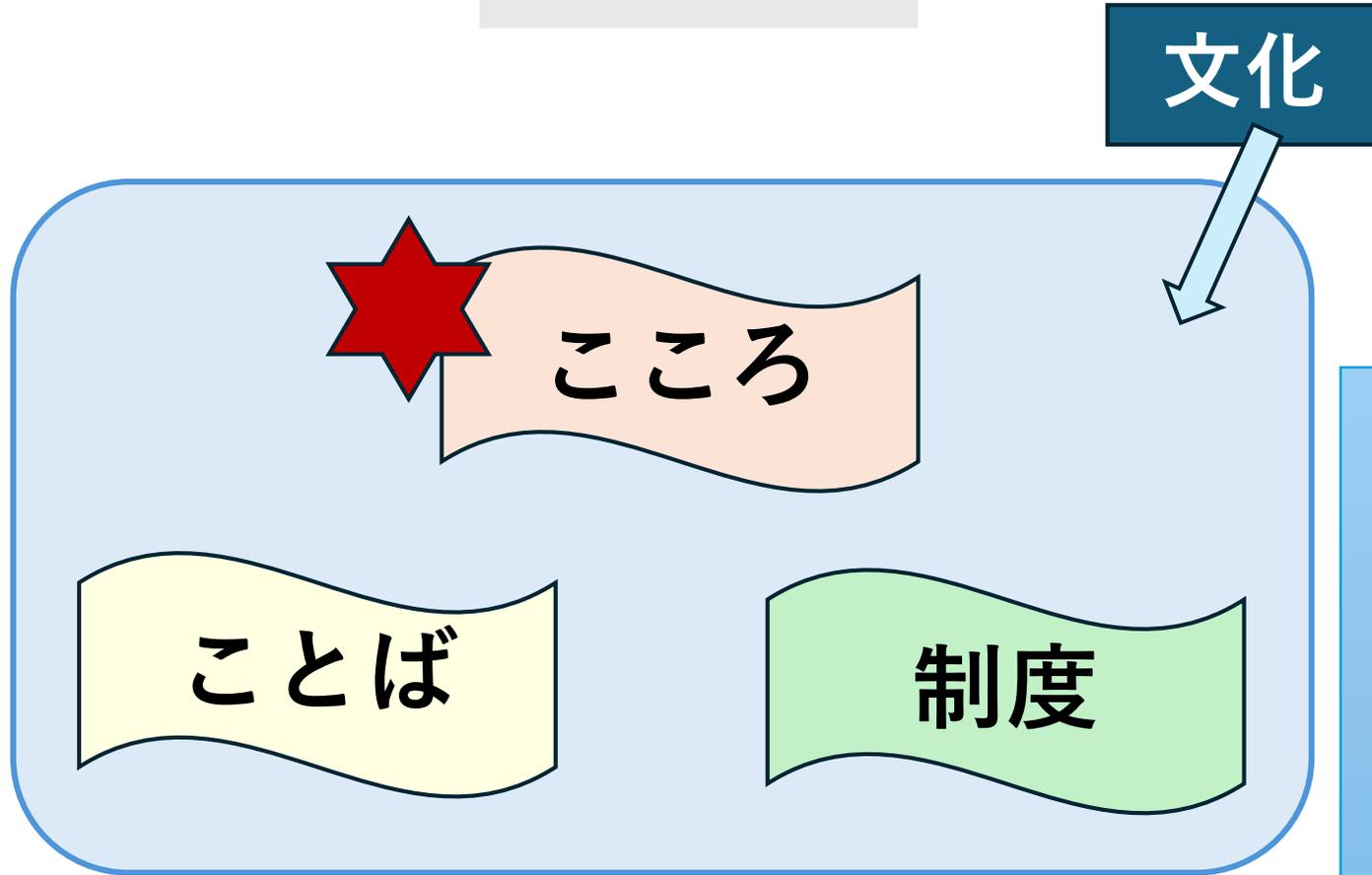


事例から「多文化共生」を考える

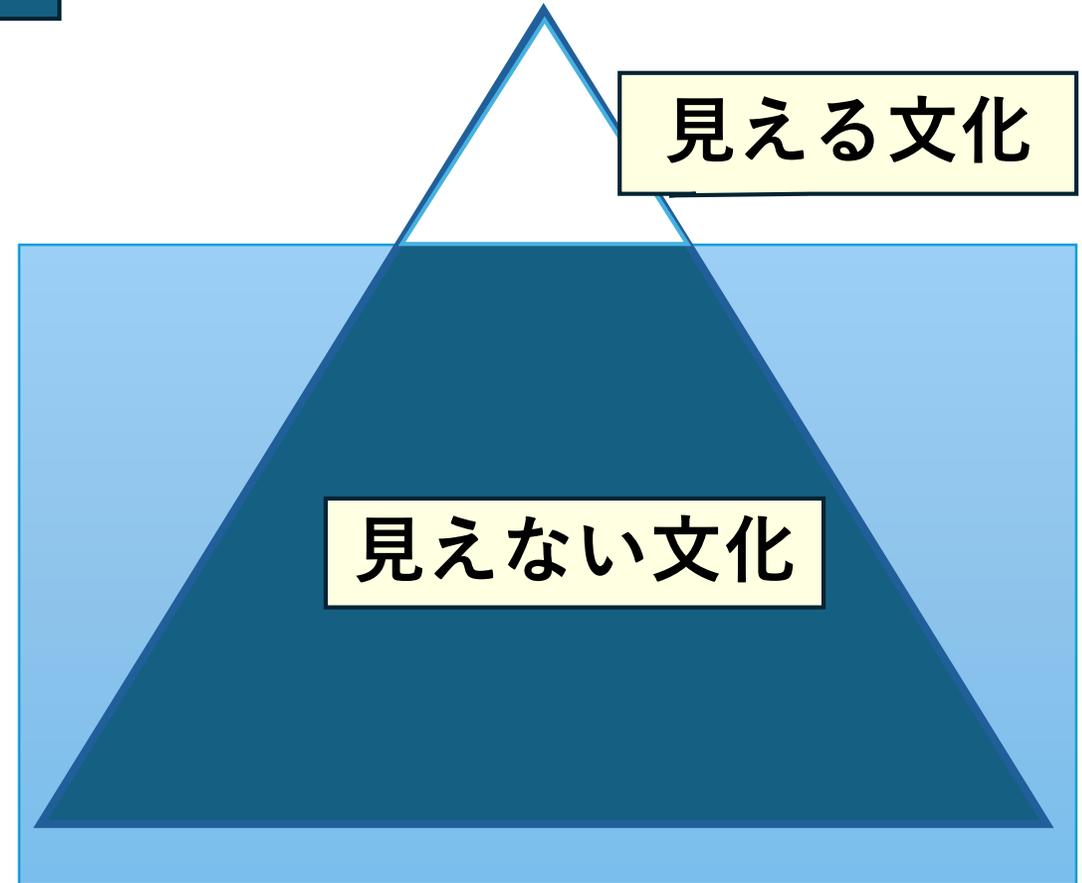
外国人にとっての「3つの壁」とは？

「今できること」から始める

3つの壁



文化の冰山モデル



3つの「壁」を低くするには〜〜

5つの壁

災害時（地震・津波・台風など）には、「5つの壁」がより鮮明に！

こころ

ことば

制度

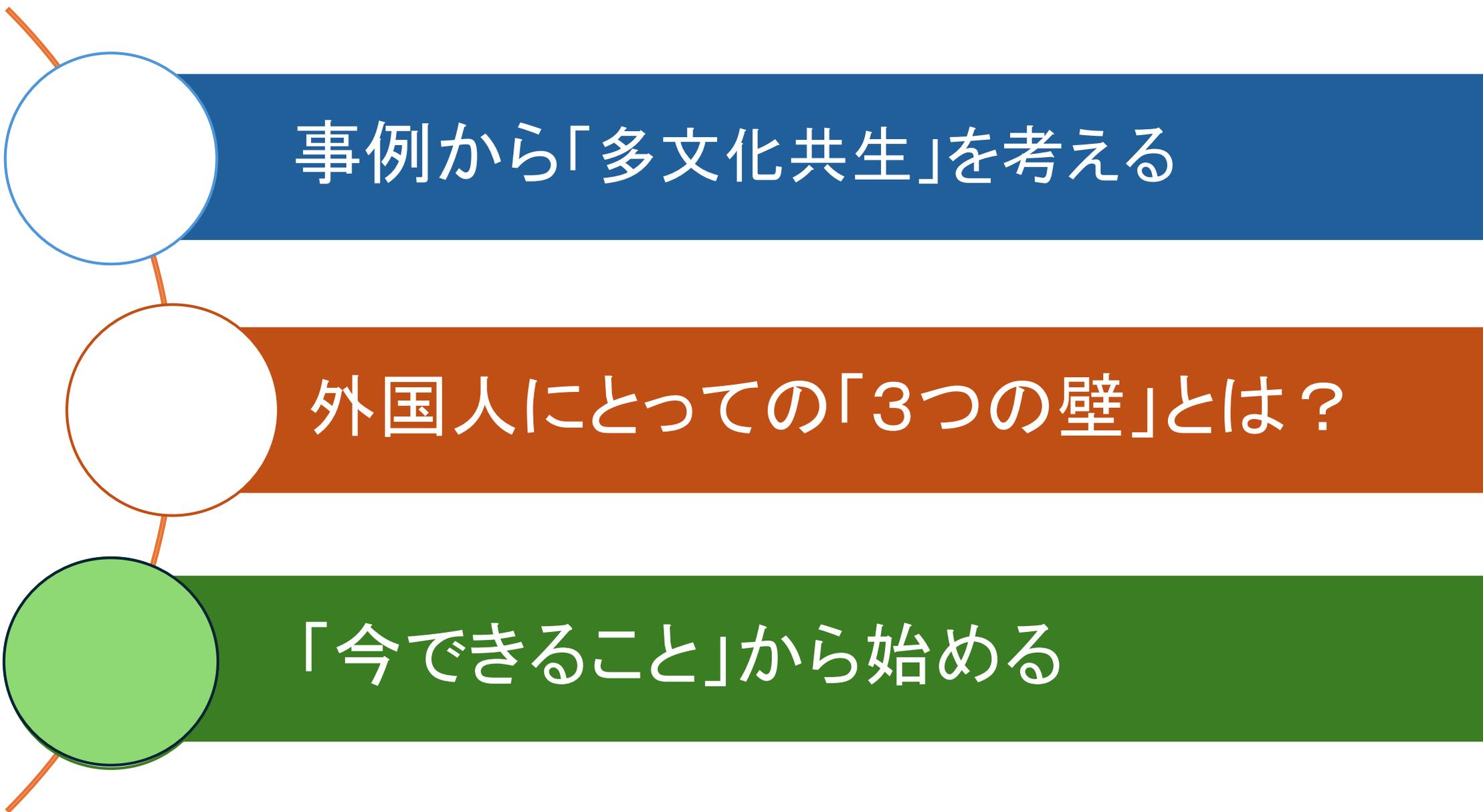
文化

経験

マジョリティ（多数派）である**日本人の意識改革**が必要！

「外国人にとって
住みやすい社会」は、

「誰にとっても
住みやすい社会」！



事例から「多文化共生」を考える

外国人にとっての「3つの壁」とは？

「今できること」から始める

広報すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

{ 5/15 }
令和5年(2023年)
No.2353

心の壁を越える
日本語の学び舎。

日本で暮らす外国人が今、杉並区でも増えています。杉並区交流協会では1月末に、子どもを対象にした日本語教室を開始しました。40年にわたって日本語教育の現場で活躍し、同教室の企画・運営に携わる日本語教育実践家の嶋田和子さんに、教室立ち上げへの思い、多文化共生のために大切なことを伺いました。

特集
すぎなみピット

日本語教育実践家

嶋田 和子



〒156-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代番) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📧 編集: 広報課



お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。最新情報は、区ホームページをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

言葉の違い、価値観の違いは、

互いにとって「力」になります



2023年1月、**小学生対象**子ども日本語教室
スタート (杉並区交流協会)

2023年4月、**中学生対象**子ども日本語教室
スタート (杉並区教育委員会)

外国につながる子どもの現状は……

文部科学省調査（2021年5月1日現在）より

公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数 （外国籍・日本国籍）の推移

	2012年	2016年	2021年
外国籍	27,013	34,335	47,627
日本国籍	6,171	9,612	10,726
合計	33,184	43,947	58,353

「子どもの課題」は、
待ったなし！

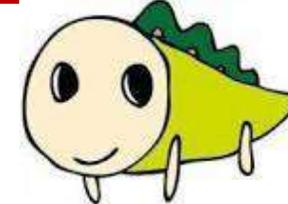
10年間で
1.8倍

—多くの外国人と向き合ってきた嶋田さんが考える多文化共生社会とは、 どんな社会ですか？

多文化共生の原点

となるのは、外国から来た人も「自分たちと一緒に社会を作っていく仲間なのだ」という考えを私たちが意識の根底に置くこと。そして、もう
一歩踏み込めば、外国人に限らず誰もが異なる価値観を持って生きられる社会、誰もが自分らしくいきいきと生きられる社会こそが、多文化共生社会ではないかと思うのです。

なみすけ
NAMISUKE



聴くオフミーティング

多文化共生ってなに？

外国人から見る

杉並を話し合おう！

2024年5月25日

区民生活部 文化・交流課

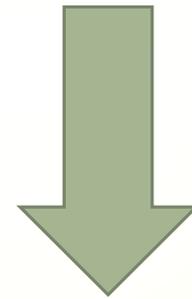
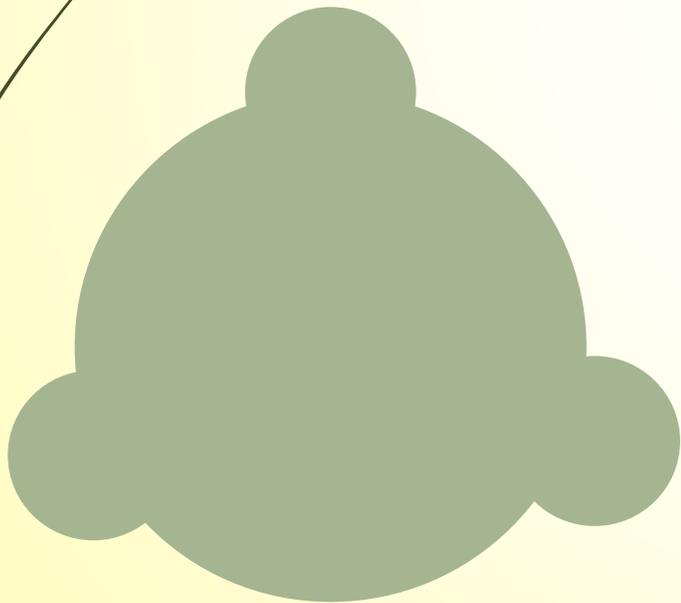
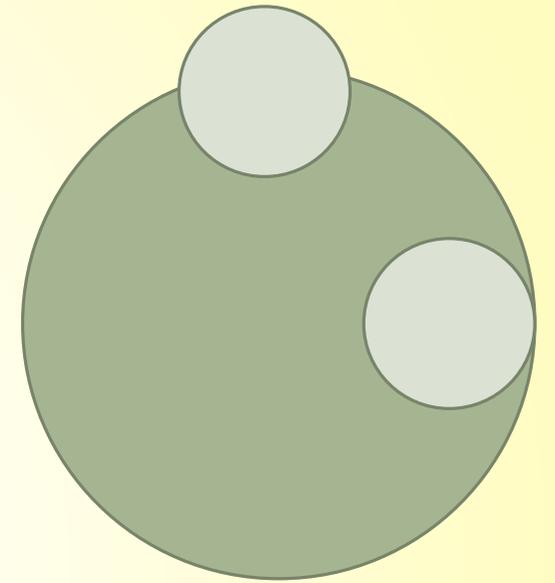
「多文化共生」とは

国籍や民族などの異なる人々が、
互いの文化的ちがいを認め合い、
対等な関係を築こうとしながら、
地域社会の構成員として共に生きていくこと。

(総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より)

①違いを認め合う

支援を通して外国人に日本社会に適応してもらおう
外国人が日本社会に溶け込む努力をする



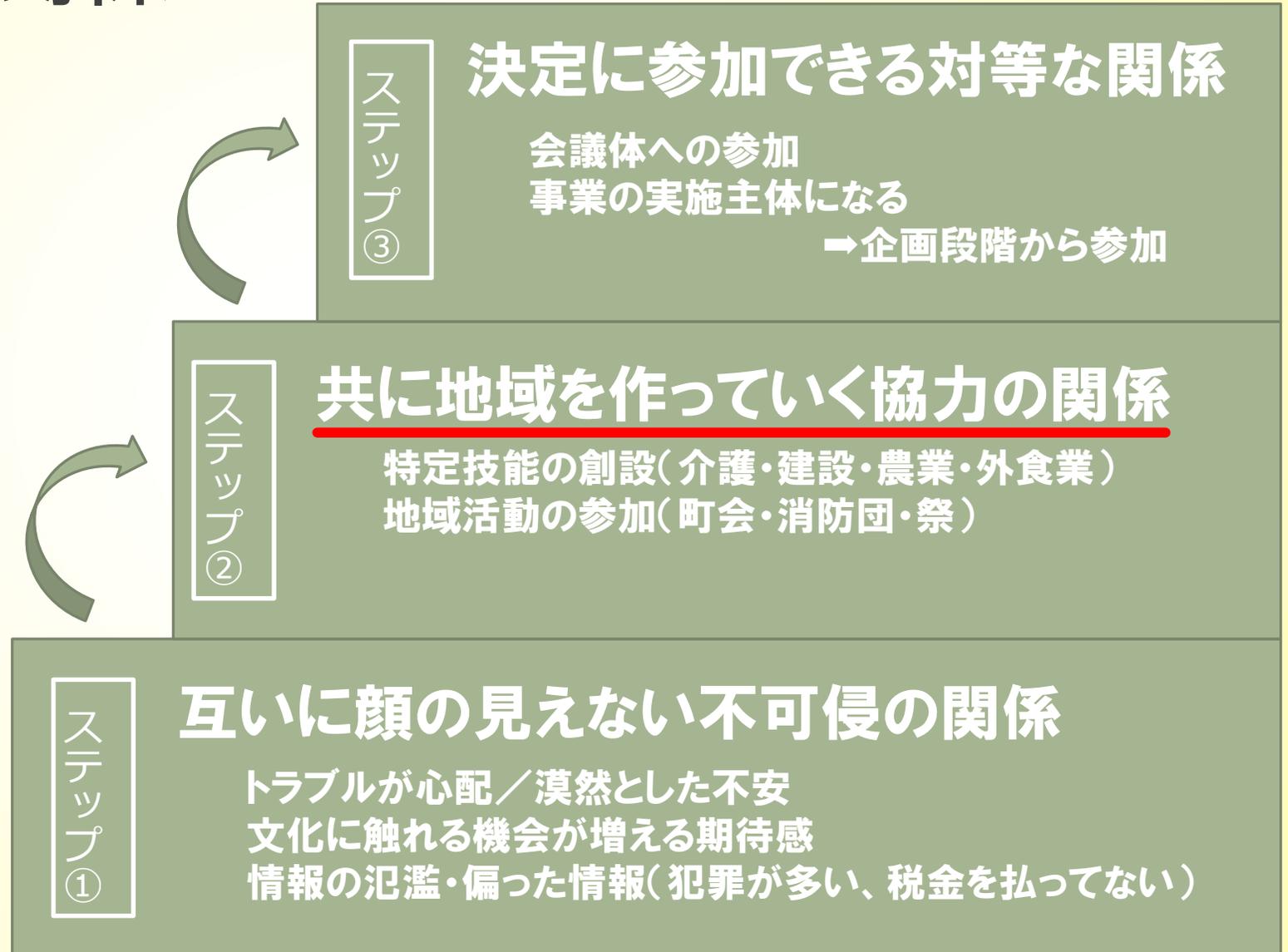
違いを認める = 受け入れる

互いに働きかけ、影響を及ぼし

新しい社会・価値観を生み出すこと

② 対等な関係

外国人の犯罪率は検挙総数の5%
窃盗、傷害・暴行が7割超
(令和2年度 法務省)



➡ 10人に1人が外国人に！

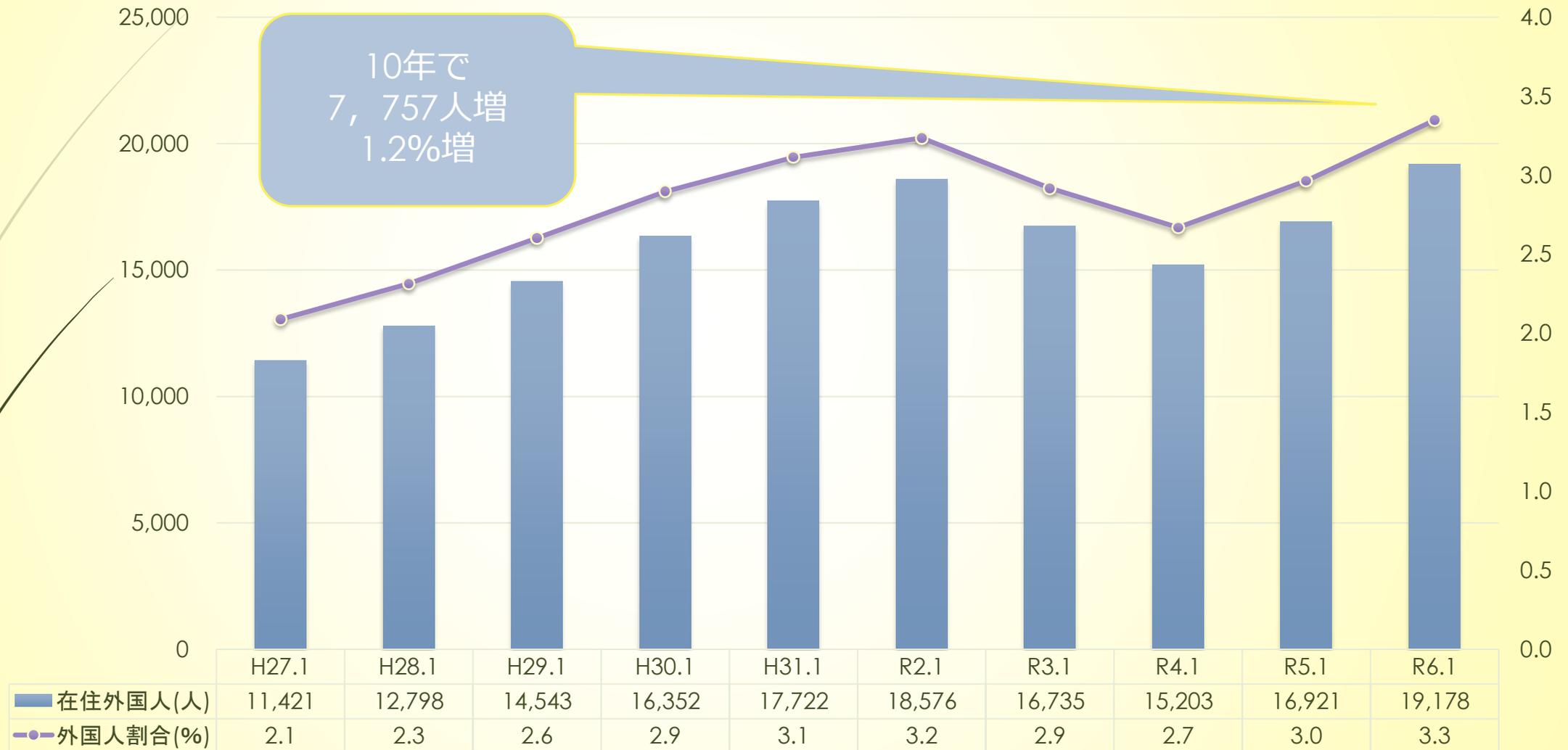
日本の将来人口推計（2023年）では、2070年の人口は8,700万人
現在の1億2,441万人（推計）から**30%の大幅減少**
外国人数は増加傾向にあり、2070年には1,082万人
10人に1人が外国人に！これは人口全体の**12.4%**に相当する値。

■ 杉並区の在住外国人の推移・現状

杉並区在住外国人の人口は、コロナ禍で減少したものの、2023年に再度増加に転じ、2024年1月現在で**過去最高(19,178人、3.3%)**となっている。

参考：2015年 11,421人 (2.1%)

【杉並区在住外国人等の推移(過去10年間)】



アンケート（速報値）

N=289

外国人が増えていくことについて、どのように感じますか？

3位

➡ 1 外国人・外国語に触れる機会が増え、知見が広がる【96件:33%】

2位

➡ 2 外国の文化を知る機会が増える【105件:36%】

➡ 3 外国人の友人・知人が増える【68件:24%】

4位

➡ 4 外国に興味・関心を持つきっかけになる【90件:31%】

➡ 5 人口が増えてまちに活気が出る【49件:17%】

➡ 6 異文化交流から新しいアイデアが生まれる【69件:24%】

➡ 7 高度な知識や技術を持つ人材が増えることによって社会インフラが維持できる【26件:9%】

➡ 8 日本語が通じない人が増える【64件:22%】

1位

➡ 9 生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きる【110件:38%】

4位

➡ 10 多言語対応など外国人のための整備が必要になる【90件:31%】

➡ 11 治安が悪くなる【51件:18%】

➡ 12 漠然とした不安がある【45件:16%】

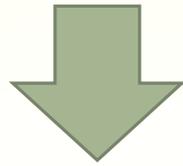
自分の実体験に
基づくか？
103件：36%

外国人支援を拡充

社会の制度的・構造的な課題にアプローチする

事業名	内容
拠点の整備	学習・相談・交流の機能を持つ、多文化共生を推進していくための拠点を整備
日本語教育の推進	学習支援による基礎段階の言語習得からシフトし、自立できる言語の習得を目指す
情報の発信・受信	新型の感染症や気象災害の激甚化など、社会情勢の変化に対応 受け手に届く情報発信の仕方

皆さんの行動変容が社会を変える



人権が尊重され
誰もが活躍し
いきいきと暮らせる杉並

A decorative graphic on the left side of the slide. It features a dark green arrow pointing right at the top, and several thin, curved lines in shades of green and grey that sweep upwards and to the right from the bottom left corner.

外国人から見る杉並を
話し合おう！